

家畜衛生だより 令和7年8月号

紀北家畜保健衛生所

電話 073-462-0500

紀南家畜保健衛生所

電話 0739-47-0974

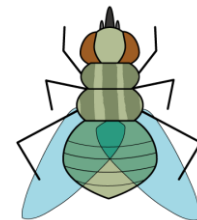
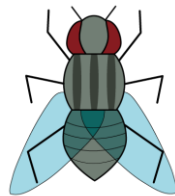
紀南家畜保健衛生所 東牟婁支所

電話 0735-58-1481

ハエの防除対策をしましょう！

ハエの発生は、苦情の原因になるばかりではなく、病原菌やウイルスの媒介、ストレスによる生産性の低下にもつながります。イエバエ・サシバエの防除対策を再度ご確認ください。

○サシバエとイエバエの違い

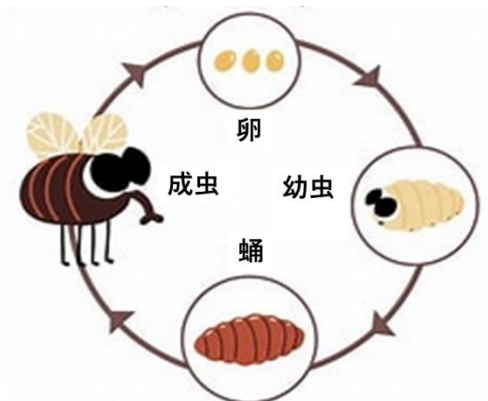


	イエバエ	サシバエ
発生時期	1年中（特に初夏と秋）	春先や秋
体長	6.0～8.0mm	3.0～8.0mm
口器	舐食型	吸血型
休息場所	壁や天井	草むらや木陰

○ハエの発生サイクル

最適温度（20～25℃）では、イエバエなら10日間、サシバエなら20日間で卵から成虫になります。

成虫・蛹・幼虫・卵の生息割合は、成虫が全体の20%（成虫対策だけでは効果がでにくい）。



○ハエの防除対策

①環境対策

ハエの産卵場となる糞や残餌を取り除き、定期的な清掃を行う。

ハエの卵は40℃以上の温度で死滅するので、適切なたい肥化を行う。

また、水分50%以下で孵化率が激減するので産卵場になりやすい場所を乾燥させる。

畜舎周囲の草刈りにより、サシバエの休息場所を減らす。柱や壁に薬剤を塗布し、イエバエの休息場所を減らす。

②幼虫・成虫対策

幼虫対策、成虫対策に合わせて薬剤を利用する。

【主な殺虫剤】

種類	成分	特徴	対象
IGR 剤 (幼虫発育抑制剤)	シロマジン ジフルベンズロン 等	効果が高く、長い 耐性ができにくい 人畜への毒性が低い	幼虫
有機リン系製剤	フェニトロチオン トリクロルホン 等	即効性で効果が高い 耐性ができやすい 人畜への毒性が高い	幼虫 成虫 畜舎
ピレスロイド系製剤	ペルメトリン エトフェンプロックス 等	即効性で効果が高い 効果が短時間 人畜への毒性が低い	幼虫 成虫
カーバメイト系製剤	プロポクスル 等	即効性で効果が高い 人畜への毒性が高い	成虫 畜舎

※殺虫剤使用上の注意

- ・同一系統薬剤の長期使用により薬剤耐性ができることがあるので、系統の違う薬を一定期間毎に変更する。
- ・薬剤は取扱説明書の用法、用量、保管上の注意を守り使用する。
- ・畜体や卵、飼料などに殺虫剤がかからないように注意し、出荷の際は休薬期間を守る。

効果的に防除し、ハエの発生しにくい環境を作りましょう！

気になることや不明な点がありましたら、
所轄の家畜保健衛生所にお問い合わせください。